

しおがま 市議会だより

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Aug.2025 (令和7年8月)
ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>

令和7年 6月定例会号

- 議案審議の概要 など P2
- 常任委員長報告 など P3
- 討論 P4
- 市政に対する一般質問 P5～9
- 議案等賛否一覧表 など P10



【塩竈市議会ホームページ】
市議会の情報は市議会HPで
ご覧になれます。



日本三大船祭り 塩竈みなと祭の海上渡御

定例会会議日程

本会議

6月16日 会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託

委員会

6月18日 総務教育常任委員会

6月19日 民生常任委員会

6月20日 産業建設常任委員会

本会議

6月23日 市政に対する一般質問

6月24日 市政に対する一般質問

委員会

6月25日 議会運営委員会

本会議

6月26日 各常任委員会委員長報告・討論及び採決、追加議案説明・審議及び採決、議員提出議案・審議及び採決、委員会提出議案・審議及び採決

定例会のあらまし

令和7年6月定例会は、6月16日から26日までの11日の会期で開催しました。

本会議の初日では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑の後、所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。各常任委員会は3日間開催し、付託した議案審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をたきました。

最終日には、各常任委員会委員長から審査結果の報告を受け、議案9件を可決しました。また、追加議案2件が上程され、即日審議の上、可決しました。

さらに、議員提出議案1件及び委員会提出議案1件を、即日審議の上、可決し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

1億5257万6千円の 増額補正予算を可決

6月定例会の補正予算は、1億5257万6千円が計上され、補正後の予算総額は553億6572万9千円となりました。

主な事業は次の通りです。

一般会計

【補正額】

1億5257万6千円

予防接種事業費

【補正額】 5057万1千円

65歳以上の高齢者及び60歳で重症化リスクの高い方を対象に新型コロナウイルスワクチン接種を実施するにあたり、費用の一部助成を行い、ワクチン接種体制を整備するもの。

なお、当局の説明では令和7年7月上旬時点では、多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町と協議中のため、自己負担額は未定。接種費用に対する国からの助成が令和6年度で終了したため、費用の大半が市の一般財源からの負担となる。

漁港改良事業

【補正額】 423万3千円

災害復旧工事において整備した寒風沢漁港防潮堤が、震災前より約1・7m高くなったため、海側から防潮堤を乗り越えられるよう避難階段を追加設置するもの。

(令和6年度に予算計上していたが、入札不調等により工事ができなかったため、あらためて本年度の補正予算として計上するもの)

旅客ターミナル施設改修事業

【補正額】 9647万4千円

塩釜港旅客ターミナル(マリンゲート塩釜)で雨漏りが発生していることから、令和7年3月に策定した「塩釜港旅客ターミナル施設長寿命化計画」に基づき、建物西側屋上デッキの塗膜に防水工事を行い、さらに屋上でイベントなどが実施できるようゴムマットを敷設するもの。

グラウンド管理費

【補正額】 129万8千円

清水沢近隣公園スポーツ広場において、本年3月下旬の

暴風により外野側フェンスが傾き撤去したため、防球ネットの再設置および既存フェンスの安全点検を実施。



清水沢近隣公園スポーツ広場

債務負担行為の設定

小中学校電話機器賃貸借として、令和8年度から令和14年度に係る事業について限度額1239万2千円を設定。

〈債務負担行為の設定とは〉

市の予算は原則1年単位(単年度主義)ですが、複数年にわたる工事や賃貸借契約などでは、契約時点で将来の支出が確定することがあります。(例 3年間の賃貸借契約)そのため、議会の承認を得て、将来の支出を「債務負担行為」として予算に記載することによって、財政の透明性と適正

条 例

性を確保します。これにより、議会や住民が将来の財政負担を把握できるようになります。

市が行う選挙の際の投票立会人等に対する報酬を国に準じて増額する「市の行う選挙等における選挙長等に対する報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」や令和7年7月から令和9年6月まで市長の給料月額額の20%・副市長の給料月額額の18%・教育長の給料月額額の16%を削減する「特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」(個人住民税の所得控除において、昨今の物価上昇などを考慮して大学生年代の被扶養者の所得金額上限額を緩和することにより扶養控除を受けやすくする制度、および加熱式たばこの税額を従来の紙巻きたばこなどの税額水準に近づける税制改正を盛り込んだ「塩竈市市税条例の一部を改正する条例」など、計8件が上程されました。

質疑、採決の結果、「特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」を除いて可決成立しました。

意見書

○可決したもの

◆米価高騰に関する意見書 国に対策を求める意見書を提出することについて全会一致で可決しました。

1. 米の生産量を安定的に確保するため、抜本的な対策を講ずること。

2. 農家の経営安定を図るため、生産者・消費者双方にとって納得できる米の価格の抑制に努めるとともに、農家が安心して生産できる施策を講ずること。 など

決 議

○可決したもの

◆地酒文化の継承と酒米の安定供給に関する支援を求める決議

主食用米価格の高騰が、特に一般米の使用割合が高い宮城県酒造業がその影響を受けて酒米の確保が困難となっていることを踏まえ、地場産業である酒造業の持続と発展を支えるため、令和7年度「重点支援地方交付金」を活用した支援措置を強く求める決議を全会一致で可決しました。

常任委員長

報告

6月定例会において、議案9件を各常任委員会に付託し慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 浅野敏江

◎議案第34号、第36号ないし第38号及び第42号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要望意見」

○清水沢近隣公園スポーツ広場の防球ネット再設置などに当たっては、スポーツ広場は各種大会で利用される施設であることから、工事に伴う使用休止期間を利用者に十分周知されたい。

また、ホームページを現在の位置よりも10メートル程度後退させることにより、フェンスまでの距離を伸ばすこと

ができるのではないかと考える。これにより、フェンスの高さの適正化によるコストダウンやボールの飛び越え防止につながることにしても検討されたい。

◎議案第35号「特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」は、質疑採決の結果、賛成少数で否決すべきものと決しました。

「主な意見」

○この議案は、次の市長選挙までの期間の市長の給料月額を20%・副市長の給料月額を18%・教育長の給料月額を16%削減することにより、将来的な支出増大に備えた財源を確保することが提案理由の一つとのことであるが、削減効果は2年間で約1400万円であり、効果は限定的であると考える。

○老朽化した施設を多く抱える本市の財政が危機的な状況となる前に、行政コストに対する意識付けを行うことも、削減の目的とのことであるが、一般職員や市民の受け止めについて危惧する。

○仮に、職員の給与削減に及んだ場合、中途退職者の増大や、今後の新規職員採用の困難さにつながる恐れがある。

民生常任委員会

委員長 菅原善幸

◎議案第39号ないし第42号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要望意見」

○新型コロナウイルスワクチン定期予防接種は、いまだワクチン接種による副作用や後遺症などを懸念する声が多い。ワクチン接種をされた市民に対して、健康被害救済制度や健康相談窓口についての情報を広く周知されたい。



産業建設常任委員会

委員長 土見大介

◎議案第42号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要望意見」

○漁港改良事業は、寒風沢漁港防潮堤に非常時などに防潮堤を乗り越えられる階段を設置する事業であるが、設置工事が完了した際は、地元住民に使用方法を説明し、避難訓練を行うなど有効的に使用ができるよう努められたい。



○旅客ターミナル施設改修事業は、マリンゲート塩釜の建物西側屋上デッキの塗膜防水工事及び来館者の安全な通行やイベント実施のための貸出しができるようゴムマットを敷設する事業であるが、利用者の希望に柔軟に対応できるような施工方法になるよう指定管理者や利用者などの意見を反映しながら進められたい。また、施工費用のうち、ゴムマット敷設費が多額となることから、完成後の屋上施設の利活用によって、継続的にぎわいを生み出し、高い費用対効果が得られるよう取り組まれたい。

定例会傍聴のお知らせ

定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されています。

本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴される方は、市役所（本庁）四階の傍聴席へお気軽においでください。

なお、傍聴の際は、携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってから入室をお願いいたします。

塩竈市議会だよりバックナンバー・会議録についてのお知らせ

塩竈市議会だより

塩竈市議会だよりのバックナンバーは塩竈市のホームページで公開しております。「塩竈市議会だより」で検索
二次元コードでもアクセスできます。



塩竈市議会会議録

塩竈市議会会議録は塩竈市のホームページで公開しております。「塩竈市議会会議録」で検索
二次元コードでもアクセスできます。



討 論

6月26日の本会議において
討論を行いました。

その概要は次のとおりです

議案第35号 特別職の職
員の給与に関する条例の
一部を改正する条例

反対 志子田吉晃 議員

本市の今後1年間の緊急的
な財政需要予想額は30億円
とされている。市長・副市
長・教育長の給与削減額は年
間約700万円であり、削減
効果は焼け石に水ととらえる。
この提案での削減額は、例え
ば予防接種事業5057万円
に比べても7分の1程度であ
り、効果が少なすぎる。

この給与削減は、一般職員
へ波及するのではないかと
不安を呼び、逆効果となる可
能性がある。財政状況は県内
14市との比較でも、財政調整
基金を除く各指標は県内平均
より良好と考える。特別職の
給与削減は本市の財政状況が
非常に良くないという印象を
与え、市民のやる気と希望を
奪いかねない。行財政改革の
手法は人件費削減ではなく別
の方法を採るべきである。

地方債現在高比率・実質公
債費比率・単独事業費比率が
少なく、起債の余裕がある状
況で、積極的に地方債を発行
するなど、政策で解決すべき
ではないか。

以上のことから反対とする。

賛成 志賀 勝 議員

本議案の提案理由は、①第
5次塩竈市行財政改革推進計
画に基づき、健全で持続可能
な財政運営の実現②老朽化し
た公共施設更新の遅れや物価
高騰、起債借入利率の上昇な
ど、厳しい財政状況下での積
極的な財源確保③特別職が率
先して給与を削減することで、
行財政改革に対する姿勢を示
すの3点となっている。

特別職の給与を削減するこ
とによって年間約700万円
の歳出削減効果が得られると
いう、確実な事実に基づいて
いる。また、歳出削減効果を生
み出すだけではなく、特別職
が率先して負担を分かち合う
ことは、市民や職員に、行財
政改革に対する理解と協力を
求めるという重要なメッセー
ジであり、決して過度な不安
を与えるものではないことは、
総括質疑での当局からの答弁
でも明らかである。

共に困難を乗り越え、より
良い塩竈市を築き上げていく
ための議案であると理解した。
以上のことから賛成とする。

賛成 桑原成典 議員

本議案は市民の目からは一
時的なパフォーマンスではな
いかと疑問を持たれる懸念は
あるが、現在、本市財政は比
較的安定しているものの、社
会情勢の変化や物価高騰、老
朽化した公共施設が多数存在
していることを踏まえると、
今後財政が非常事態となり得
る可能性は高く、今から財政
規律を正すことが必要だと考
える。高齢化と人口減少によ
り、税収減は避けられない現
実であり、世界情勢の不安定
化による経済危機の可能性も
無視できない。給与削減案は、
たかが2年間で1400万円の
削減と言われるかもしれない
が、小さな額でも積み重ね
ていくことが大きな財源にな
るものであり、市民の信頼を
得るきっかけになると確信す
る。この議案が当局から出さ
れたことに、当局側の大きな
危機感と決断、覚悟が見られ
る。なお、本市は極端な財政
危機には陥っておらず、一般
職員の給与には影響しないも

のと判断している。

以上のことから賛成とする。

議案第42号 令和7年度
一般会計補正予算

反対 桑原成典 議員

新型コロナウイルスワクチ
ン定期予防接種に関する予算
について疑問がある。反対す
る理由として、周辺市町と合
わせる必要性がない。市や町
によって対象者人数や財政状
況も違う中で足並みをそろえ
る必要はない。

また、市が主体となって実
施する定期予防接種とする必
要性がない。想定人数の47
16人が全員接種するとは限
らず、対象者の半数が受けな
かった場合、計上された予算
の半分は捨てることになるの
ではないか。希望者が各自で
受ける任意接種で良い。定期
接種の実施は世界中を見ても
日本だけである。国の補助金
がなくなつた今、必要な市民
に補助を出す方が健全な考え
ではないか。定期予防接種と
するのであれば、最低限の対
応として該当者向けに事前ア
ンケートで接種希望を確認し、
費用対効果などを検討、判断
することで民意が反映され、

無駄が省けると考える。
以上のことから反対とする。

反対 志子田吉晃 議員

今回の補正予算案には、予
防接種事業費5057万円が
計上されているが、財政面、
健康面から反対する。この事
業は、新型コロナウイルスス
ワクチンの接種希望者に対し、
本市が接種にかかる費用を負
担しようとするものである。
その財源は宮城県からの補助
金が160万円で、残り48
97万円の財源は、本市の貯
金である財政調整基金からの
繰入である。

ワクチン接種は今回で通算
9回目となるが、世界的には
日本以外に接種を続けている
国はない。諸外国では健康上
の理由と感染抑止効果の理由
から、3回目までで中止して
いる。

国は今回の接種から費用の
助成を行わない。これは国民
に対し接種を勧めることはし
ないという政策の転換だと受
け止めている。ワクチン接種
による死亡者や後遺症の発症、
副反応といった健康被害を懸
念する声がある。

以上のことから反対とする。



市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、6月23日、24日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から一部を取り上げて、その要旨を掲載しています。

なお、各議員が行ったその他の質問の項目も掲載しています。



市民クラブ
今野 恭一

表参道から裏参道 周辺のまちづくりは

議員 旧宮町庁舎跡地の駐車場周辺には江戸時代あるいは明治時代から続く老舗のお茶屋さんやみそ屋さん、老舗の酒店や酒造会社が並んでおり、観光客の方々も多い。

しかし、お土産として、酒やみそ、あるいは茶器を購入しようと考えても、それらの品は重さなどの問題があり、周辺に駐車場がないことから購入をためらってしまう方が多くいらっしゃる。民間では駐車場設置の動きもあるが、市としても民間に後れを取らず真剣に街づくりに取り組んでいただきたいのがいい。この地域は歴史や文化が集積しており、市の中心軸と捉えている。そのような資源を活用して皆さまに楽しんでいただける空間にしていきたいと思っている。旧宮町庁舎跡地の利活用は地元の方々との意見交換をさせて



表坂から裏参道方面の風景

いただいております。市として今後の利用方針を定めていきたい。なお、宮町庁舎跡地はイベントの際に無料駐車場などとして提供している。観光客のための駐車場は、あえて少し離れた場所に配置することによって、回遊性を高めるという考え方もある。

国道45号線の 整備は

議員 港町から新浜町までの渋滞を解消しなければ、塩竈の経済はますます疲弊するのではないかと気がかりである。なぜなら、企業が渋滞を敬遠

して他の地域に移転し、それに伴って従業員も転出し人口が減少してしまうからである。以前市長が述べられていた国道45号線を港町から北浜まで直線でつなぐ構想を国や県に働き掛け、実現されたい。架橋が難しければ埋め立てという考え方もある。議会も一丸となって実現したいと思っているが、市長の考えを伺う。

市長 定期的に塩釜港をしゅんせつして発生した土砂を港奥部に埋め立てて、北浜緑地とマリングレーが一体になった広い土地ができれば、親しみやすい水辺空間が生まれる。港を通じて塩竈市が活性化の核を作りたいと考えている。これから20年後の港湾を検討する、仙台塩釜港長期構想委員会において意見を申し上げさせていただいた。まずは県の港湾計画に乗せていただく事が最重要である。

将来を見据えた形で、今やるべきことをしっかりとやる、これが塩竈市としての立場である。

その他の質問項目

- ・新富町の水道部跡地利用は
- ・宮町・裏参道周辺の整備は

しおがま学びの 10の視点は



塩竈維新の会
桑原 成典

議員 ①ICT化は効率的だが文字を書くことも大事であり、書かないと頭に入っていない。学力が上っていない中で、今後の教育の質をどのようにつけていくのか。

②教育の主体性と多様性は大事であるが、近年では主体性や多様性の考え方が強すぎるのではないかと。バランスが偏りつつあり、余りにも尊重しすぎて失っているものもある。協調性の欠如やクラスでの孤立にもつながり、学級崩壊や不登校が多くなっていると考えられているのか。

教育長 ①ICT化の課題は、手で書くことをしないことや実体験の不足により学力が低下する懸念がある。

今年度からAI型ドリルを、手書き入力ができるものに変更し、また地域文化の学習に活用できる動画コンテンツも展開する。ICT化の弊害に



公用車駐車場として使用している宮町庁舎跡地

門前町活性化は

議員 ①「門前町まち歩き勉強会」にて鹽竈神社裏坂脇の市公用車駐車場(宮町)の恒久的な活用方法がテーマであったが、市民に意見を求めるば

留意し、教育の質を上げていきたい。
②「しおがま学びの10の視点」では主体性を掲げているが、一方で、いじめ問題などを考えると当然協調性も大事であり、その辺のバランスをしっかりと取りながら教育にあたりたい。

その他の質問項目
・ 常任委員会、協議会は
・ 防災無線は
・ 広報しおがまは

かりで市の意見が述べられなかった。本市としてどのような活用したいのか伺いたい。
②また、本市にも景観条例があるが、山形県天童市では、官民が協力し景観を意識した区画整備をした。本市に置き換えた場合、観光にそぐわない広告や掲示物は必要ないのではないか。まちづくりとして多方面の理解は必要だが、門前町だけでも制限が必要だと思いがいかか。
産業建設部長 ①現状の駐車場は、本来のあるべき姿ではないと認識している。まずは、地元の方々の意見を取りまとめ分析し、最終的に市としての考えをまとめていきたい。
②門前町地区は、眺望の保全区域に指定され一定程度の規制を行っている。厳しい景観保持が望ましいのか、地域住民が納得いただけるガイドラインの策定が望ましいのか、意見は分かれると思うが、地域の方々にも納得いただけるような景観を守り育てていく取組に力を入れていきたい。

市政に対する一般質問



塩釜を
元気にする会
土見 大介

伊保石公園 再整備事業は

議員 伊保石公園に8月1日にオープンする体験型アクティビティ施設には、市内の観光客増加と回遊性向上が期待される。来場者の居住地や年齢等に応じた効果的な誘客のため、市はターゲット層をどこに定め、どのような施策を講じるのか。

また、今回の施設オープンを伊保石公園が持つ自然環境の魅力を再確認する機会と捉え、動植物の生息状況の確認など自然環境調査を実施し、自然環境の保全と持続可能な利用に向けた計画を策定する必要があると考える。

市長 事業者からの提案では、5年後には年間2万人の来客を見込んでおり、若年層や家族連れが想定される。当該施設のみならず、利用後のお食事や市内観光施設への流入など、新たな交流人口の増加やにぎわいの創出が期待される

ものと考えている。
産業建設部長 自生している植物の詳細な調査は、公園を設置する際に一定程度の報告をしている。
自然学習、自然に触れるというコンテンツが売りになると思うので、このことについても取り組んでいきたい

しおナビバス・ NEWしおナビバス の事業見直しは

議員 しおナビバス・NEWしおナビバスの料金改定から1年以上が経過した。コロナ禍からの回復で、値上げによる利用者減は想定を下回る。外出機会の著しい減少があれ



市内各住宅地と施設を結ぶコミュニティバス

ば対応が必要だが、市は料金改定が利用者の動態に与えた変化をどう捉えているか。

また、4月の一部ルート変更効果検証のためのデータ収集は行われているか。値上げで経営は一時的に好転したが、利用者の利便性は低下したままであり、安定経営に向け、利便性向上策を併せて実施すべきと考えるが、当局の考えを伺いたい。

総務部長 周辺の市町コミュニティバスの利用状況を見ても、新型コロナウイルス流行前まで戻り切っていない状況である。この理由についての分析までには至っていない。
特に利用者が減少している停留所は本塩釜駅前、下馬停留場、宮町、市営清水沢東住宅、清水沢一丁目である。

政策課長 スーパーマーケットへ移設した停留所は効果が出ている。停留所ごとの乗降者数は取得している。今後アンケート調査も行っていく。利便性の向上には、先進自治体の取組などの調査も必要ではないかと考えている。

その他の質問項目
・ 教育旅行の誘致は



公明党
小野幸男

子ども食堂の 推進は

議員 子ども食堂は、当初、経済的な事情などにより、家庭で十分な食事が取れない子どもたちに、無料または低額で食事や居場所を提供する取組を実施して注目を集めてきた。今では、世代を超えた方々がボランティアに参加して幅広い交流の場になるなど、誰もが参加できる地域の居場所として大きな役割を担い「地域食堂」とも言われている。

民間団体の令和6年の調査では、全国で1万カ所を突破し、地域の居場所として近年急速に増加している。

運営団体の多くは、寄附金やボランティアの方々を支えられており、運営が不安定になりやすく、継続の難しさがある。子ども食堂の活動に総合的な支援が必要と考えるが本市の考えを伺う。

①本市の子ども食堂の把握や開催状況について

②運営費用への補助金交付について

③企業からの支援も重要であり、民間企業からの支援を促すような体制づくりについて

④学習支援として寺子屋しおサポを開催したが、学習支援と食の支援を組み合わせる実施してはどうか。また寺子屋しおサポの内容を伺う

⑤寺子屋しおサポなどの今後の展開について伺いたい

市長 ①助成金を活用している団体は、令和6年度実績では3団体あり、活動実績は年間延べ40回、参加者数は延べ2225人である。

また、助成金を受けずに、4団体が独自に活動をしている。**福祉子ども未来部長** ②子どもに対する支援を行う方々に交付する「こどもほつとス

ペースづくり支援事業助成金」を交付している。

③担当課が支援を行いたい団体と運営団体との調整役を担っていきたくと考えている。**教育部長** ④寺子屋しおサポは、学習支援の新たな取組である。家庭や学校以外で子どもたちが誰もが学習できる学びの場をつくろうと、大学生ボランティアや教育部の先生方の協力のもと開催した。学習

支援と食の支援の融合は面白い取組と考える。今後にもさらに展開をしていきたい。

市長 ⑤コロナ禍での子どもたちの貧困を機に子ども食堂的な取組をした。今回、教育格差を是正する一助になればと寺子屋しおサポを試行した。

今後、夏休み中の開催頻度の拡充や学区ごとの展開も視野に入れ、民間団体の支援と重ならないよう行政と民間の協働でより良い支援を模索していきたい。



子ども食堂のお弁当

その他の質問項目
・防災対策強化は



かいしん
佐藤公男

悪臭問題は

議員 高度経済成長は豊かさをもたらした一方で、さまざまな公害問題も引き起こしてきた。本市も漁港のある地域で、沿岸部の工場などから発生する悪臭が市民生活を悩ませている。

市民からは「洗濯物が外に干せない」「魚臭い」といった声も聞かれる。一年半前にも同様の質問をしたが、環境基準値を超えていないため、対象事業者に改善勧告や指導はできないという答弁であった。その後の経過を伺いたい。

市長 令和2年ごろより悪臭に関する苦情が多数寄せられている。臭気測定を実施し、環境基準値を超えた場合は文書で指導を行い、改善計画書の提出を求めるなどの指導をしてきた。今年3月に事業者から臭気低減に関する具体的な方針が示され、順次対策が図られていて、その推移を注視



工場からの悪臭問題は？

している状況である。

環境課長 悪臭は乾燥設備の排気口から出ていることが判明し、改善策として排気口のかさ上げは完了している。

また、活性炭を用いた脱臭装置は、一基は6月中旬に完成し、もう一基は10月中の完成が予定されている。

高齢者の セカンドライフは

議員 千葉県柏市では、地域の商工会議所、シルバー人材センター、社会福祉協議会など9団体からなる生涯現役促進協議会を立ち上げ「生涯現

市政に対する一般質問



かいしん
志賀 勝

「持続可能なまちづくり」は

役ネット窓口」を開設した。これは行政窓口とは異なり、高齢者の就業や地域活動（趣味やボランティアなど）を通じて健康年齢を維持するとともに生きがいづくりに重きをおく取組である。

柏市の高齢化率はいまだ21・9%である。高齢化率34・6%の本市こそが取り組む課題ではないか。

市長 高齢者の労働は大切な視点なので、市全体で真剣に考えるべきである。高齢者が地域で元気に活動していただくために高齢者のサロンが必要だと思っている。活動の場を広げ、子どもとの交流なども行っていくきたい。いろいろなことが絡み合って地域が充実していくものと考えている。

福祉子ども未来部長 高齢者が生涯にわたり、いきいきと活動する場としてシルバー人材センターのほか、各団体と連携して支援をしている。柏市の例は、各種団体の連携を深める手法としてとらえ、必要な施策を検討していきたい。

その他の質問項目

・ 社会人採用・新卒採用は
・ 選挙投票率の向上は

議員 本市の最上位計画である第6次長期総合計画には、

「持続可能なまちづくり」が掲げられており、将来世代も快適に暮らせるよう、環境・社会・経済のバランスを考慮し、現在と将来のニーズを両立させる取組を行うものとしている。しかし、物価高騰や地域経済の低迷、社会保障への不安など課題が山積し、私たちは今を生きることに注力せざるを得ない。将来世代への責任を果たす「持続可能なまちづくり」をどのように進めるのかを伺いたい。

市長 持続可能なまちづくりとは、経済や社会、環境などのさまざまな要素をバランスよく保ちながら、今の世代だけでなく将来の世代にも安心して快適に過ごせるまちを引継いでいくことととらえている。本市を取り巻く社会情勢は、目まぐるしく変化し

ており、今後もこのような状況が続くと想定されることから、第6次長期総合計画では、まちづくりの視点として、調和のとれた持続可能な社会の実現を重視することとした。

さらに、まちづくりの手法として、人材育成を図りながら、多様な担い手による協働・共創のまちづくりを進めるとともに、社会情勢の変化にも柔軟に対応できるまちづくりを推進することを掲げ、さまざまな施策を展開していきたいと考えている。

国が進める 広域連携は

議員 本市に限らず、大半の

地方の小規模自治体を取り巻く環境は、人口減少、頻発する自然災害、そして厳しさを増す財政状況など、さまざまな課題に直面している。これらの問題を単独の自治体だけで解決することは容易ではない。このような状況を踏まえ、国は基礎自治体の広域連携・

広域行政を積極的に推進しており、より効率的で効果的な行政サービスを提供することを目指している。そこで、国

が推進する広域連携に対する本市の立場について伺う。

総務部長 人口減少や少子高齢化、特に本市は公共施設の老朽化が顕著であることから他自治体との共同処理や資産の共有などが課題ととらえている。本市としては国の進めている広域連携を積極的に進めていく立場である。現在は、周辺市町と設置した塩釜地区消防事務組合で消防業務や介護認定審査、し尿処理施設と火葬場の運営を行っている。また、周辺市町と休日急患センターの共同運営を行っている。昨年より塩釜地区広域行政連絡協議会にて副首長会議が立ち上げられ、共同処理ができそうな事業について意見交換を行っている。

政策課長 自治体が単独で成り立たない時代になっていくものと考えている。国では、相当の規模と中核性を備える中心都市が近隣の市町村と連携し、地域の活性化を図ろうとする「連携中核都市圏構想」を打ち出して、その実現に対する支援を行っている。

その他の質問項目

・ 今後まちづくりに必要な人材育成は
・ 広域連携に対する本市の計画は



日本共産党
塩釜市議員
鈴木悦代

本市地域福祉 計画の実施は

議員 高齢化社会の進行や、

核家族化によって、高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が多くなっている。私自身が遭遇した事例を通して、高齢者は急に体調が悪化することがあり、事態が深刻化する前に、あらかじめ、ある程度リスクを想定した取組が求められると実感している。

①ハイリスク・潜在的課題を把握するために市はどのような取組を行っているか伺う。
②相談をキャッチし、支援につなげる市役所の全庁横断的な仕組みづくりについて、どのように考えているか伺う。
福祉子ども未来部長 ①訪問相談活動により、実態を調査、把握しているほか、高齢者だけではなく幅広い課題を抱えた方々に対して、民生児童委員が生活実態の把握や福祉行政の橋渡し役として活躍して

いただいている。



市民ぐるみの意見交換を

学校規模 適正化は

②庁内において、水道の利用状況などを通して高齢者の生活の変化について報告するなどの連携を行っている。

行政だけではなく民間の支援機関や地域住民の方々との連携も必須な状況であり、今後の取り組みべき課題を精査している。

議員 昨年度、学校規模検討委員会からたたき台が出され、今般、パブリックコメントのまとめも出された。今後の進め方では、市民の合意形成、広

く市民ぐるみの意見交換となるような工夫が必要だと考える。ワークショップ形式など市民参加型のプロセスを大事にすることで、まちに対する愛着も湧くのではないかと。

①パブリックコメントの主な内容と、その受け止めは。

②本市学校統合の具体的規模(案)の提示時期、意見聴取の進め方を伺いたい。

教育長 ②学校関係者から意見聴取を始めている。今年末くらいまでに具体的な方針案を作成し、3年以内に方針として策定することを目標としている。工夫をして保護者、子どもたち、地域の方々から広く意見を求めている。

学校教育課長 ①意見聴取に関することや小規模学級に関することや少子化対策を求めるという政策に関する御意見をいただいている。これらの御意見は、今後、意見交換会や具体的な方針案の検討において参考にさせていただきたいと考えている。

その他の質問項目

- ・ 道路整備は
- ・ 地域公共交通は
- ・ 核兵器廃絶都市宣言は



日本共産党
塩釜市議団
小高 洋

不登校をめぐる 考え方は

議員 不登校児童生徒数はこの10年で3倍、35万人近くとなった。不登校児童生徒に対する支援について、子どもや保護者が心から安心できる施策が求められる。①心の傷の理解と回復に重点を置きながら、子どもたちの居場所をさまざまな形で準備しておくことが重要と考えるがいかがか。

②保護者から学校へ、毎日朝の電話連絡は心理的にも負担となっている。オンラインで出欠連絡ができる仕組みなどの活用状況は。③介護休業制度の判断基準の見直し4月に行われ、不登校の児童生徒が基準に適合する場合などは、保護者の介護休業の取得が可能とされた。保護者や事業者に対する制度の周知・情報の提供などについて伺いたい。

市長 ①心に傷を負い、何かのきっかけがあつて学校に行けなくなってしまった状況

どのように解釈するかは非常に難しいところがある。児童生徒一人一人に対応できるように、研究し努力を続けたい。

教育長 学校へ復帰することのみを目標とせず、社会的に自立できることを目指した支援を行っている。不登校の要因は複合的であるので、家庭や関係機関と連携しながら児童生徒の自己決定を大切に、寄り添って支援することが必要と考えている。

廃棄物処理 行政は

議員

①施設の老朽化について、これまでの経過と今後の検討は。②廃棄物の減量化にあたって、日常生活における取組は何か。③廃棄物の有料化について、その目的と方法、

法的根拠などの整理について伺いたい。

市民生活部長

①事業費の大幅な増大により単独整備は断念した。広域化で想定される諸課題などを整理し、方針を決定してまいりたい。②燃やせるごみに水分が多く含まれている。食材や使い切り、食べ物の食べ切り、生ごみの水切りを推進したい。③ごみ処理の有料化はごみ減量化の動機付けと排出量に基づく費用負担の公平性確保となる。

その他の質問項目

- ・ 放課後児童クラブの状況と課題は
- ・ 利府中インター線工事は



ごみ処理施設(清掃工場)

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対 ／：議長は採決に加わりません

会 議 名	会派名・議員氏名 議案番号・件名		日本共産党 塩釜市議団				市民 クラブ		塩 竈 維 新 の 会	塩釜を元気に する会			公明党		かいしん		審 議 結 果				
			伊勢 由典	小高 洋	辻畑 めぐみ	鈴木 悦代	鎌田 礼二	志子田 吉晃	今野 恭一	桑原 成典	西村 勝男	伊藤 博章	土見 大介	柏恵 美子	浅野 敏江	小野 幸男		菅原 善幸	志賀 勝	鈴木 新一	佐藤 公男
6 月 定 例 会	議案第34号	市の行う選挙等における選挙長等に対する報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第35号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	×	×	×	×	/	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	否決	
	議案第36号	塩竈市恩給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第37号	塩竈市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第38号	塩竈市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第39号	塩竈市市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第40号	塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第41号	東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	議案第42号	令和7年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	/	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	原案可決
	議案第43号	財産の取得について	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第44号	財産の取得について	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議員提出 議案第3号	米価高騰に関する意見書	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	委員会提出 議案第1号	地酒文化の継承と酒米の安定供給に関する支援を求める決議	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

表 彰

第101回全国市議会議長
会定期総会において、次の方
が表彰されました。

◎表彰状

(議員在職三十年以上)

伊 勢 由 典

編集後記

2年に1度の委員改選のため、現在の議会報編集委員会メンバーによる市議会だよりは今号が最後になります。題字や討論のレイアウト変更など、読みやすさの観点から修正を行ってまいりました。これまでのご愛読に感謝申し上げます。9月定例会号は新しいメンバーにより発行されますのでご期待下さい。

議会報編集委員会

委員長 志子田 吉 晃
副委員長 小 高 洋
委員 佐 藤 公 男
委員 菅 原 善 幸
委員 桑 原 典
委員 土 見 大 介

次回の定例会は

9月5日(金)

午後1時開会予定です